

令和5年度 第2回下野市地域公共交通会議 会議録

開催場所	下野市役所2階 203会議室
出席者	長田委員（会長）、真下委員、小林氏（角田委員代理）、鶴見委員、山川委員、一戸委員、上野委員、平岡氏（上野委員随行）、滝田氏（横尾委員代理）、菊池氏、安生氏（滝田氏随行）、庄野氏（星野委員代理）、細谷委員、福島氏（塩田委員代理）、保坂委員、荒川委員、小矢島委員、鉢村委員、水元委員
欠席委員	佐藤委員、山本委員、原委員、金清委員、川中子委員
傍聴者	なし

次第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 題
  - (1) 地域公共交通確保維持事業に係る交付申請について
  - (2) 地域公共交通確保維持事業に係る事業評価について
  - (3) デマンド交通運行管理業務事業者の選定結果について
  - (4) その他
    - 1 デマンド交通おでかけ号の現状について
    - 2 自動運転バスの実証実験について
    - 3 その他
4. 閉 会

(事務局)

○開会

資料確認

【資料1】 地域公共交通確保維持事業に係る交付申請書

【資料2】 地域公共交通確保維持事業に係る事業評価

【資料3】 デマンド交通運行管理業務事業者の選定結果

(長田会長)

○会長あいさつ

議事録署名人選任

なお、下野市地域公共交通会議条例第6条第2項の規定に基づき、出席者17名で会議成立。

また、下野市審議会等の設置運営要綱の規定に基づき、議事録は発言した委員名も含め、ホームページで公開する。

(長田会長)

○議題1 地域公共交通確保維持事業に係る交付申請について

議題1について、事務局の説明を求める。

- (事務局) 地域公共交通確保維持事業に係る交付申請について説明(資料1)
- (長田会長) 事務局から説明があった地域公共交通確保維持事業に係る交付申請について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。  
～質問・意見なし～
- 議題2 地域公共交通確保維持事業に係る事業評価について
- (長田会長) 議題2について、事務局の説明を求める。
- (事務局) 地域公共交通確保維持事業に係る事業評価について説明(資料2)
- (長田会長) 事務局から説明があった地域公共交通確保維持事業に係る事業評価について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (滝田委員) 全体の登録者数はわかるか。
- (事務局) 昨年度末で市内・市外を含め5,224名の登録がある。
- (真下委員) 利用料金を現状のままですると市の持ち出しが増えるかと思うが、値上げ等は考えているのか。また、燃料費の上昇が事業者の負担となっていると思われるが、市の予算措置はどうなっているのか。
- (事務局) 昨年度と今年度、国から新型コロナウイルス対策臨時交付金の対応により燃料価格高騰対策支援として補助金を支給した。次年度については未定である。デマンド交通運行委託プロポーザルによる経費の見積もりでは、高騰分の見積もりも考慮している。現段階では利用料金の値上げという方針は考えていないが、検討する際は議題としたい。
- (真下委員) 利用料金が上がると利用者数の減少もありうる。なるべく利用料金は上がらないようにしていただきたいが、委託業者も経費を削るということは難しいと思うので、引き続き市で対応を考えてほしい。
- (長田会長) ほかの月に比べ、4月・5月の利用者数が落ち込んでいるようだが、何か理由はあるか。
- (事務局) 新型コロナウイルスが5類となったことから、6月以降は外出を控えていた層が外出をし始め、相対的に4月・5月が他の月より低くなった可能性がある。5類になる前の3月の利用者数が多い理由は、年度末ということもあり、諸手続きのために外出が増えたと思われる。

(上野委員) 資料2別添1の「令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」の目標・効果達成状況において、実績が昨年度より減少している理由は何か。

(事務局) 令和2年度までは旧町ごとの3エリア毎にデマンドを運行しており、エリアを跨ぐ際は乗り継ぎが必要であった。しかし、令和3年度から市内一律に乗れるようになったことにより実績が一時的に伸び、令和4年度以降は令和3年度の延長線となるので数字が落ち着いたと思われる。

(長田会長) 資料2 P 6 記載の副読本が電子化され、無料券の扱いはどうなったか。

(滝田委員) 電子化と同時に無料券は廃止となった。

(長田会長) 他にご質問ご意見はあるか。

～質問・意見なし～

(長田会長) それでは、資料2について採決を行う。

～挙手多数～

(長田会長) 承認ということで国に提出したい。

○議題3 デマンド交通運行管理業務事業者の選定結果について  
(長田会長) 議題3について、事務局の説明を求める。

(事務局) デマンド交通運行管理業務事業者の選定結果について説明(資料3)

(長田会長) 事務局から説明があったデマンド交通運行管理業務事業者の選定結果について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(滝田委員) 委託料の上昇は燃料費などの高騰が原因か。

(事務局) 燃料費高騰分が大きく影響している。また、運行形態変更による登録者・利用者数が前回の委託契約時よりも大幅に実績が伸びていることを反映したことも影響している。

(山川委員) 資料のとおり国分寺タクシーもデマンドを行っているということによろしいか。

(事務局) 南河内、国分寺エリアは国分寺タクシーに協力を得ている。

(長田会長) 石橋タクシー・国分寺タクシー共同で行うという形で務めてほしい。

○議題4 その他(1) デマンド交通おでかけ号の現状について  
(長田会長) 議題4 その他(1)について、事務局の説明を求める。

(事務局) 実際に3年間デマンドを運行した石橋タクシーから説明を求める。

- (荒川委員) デマンド交通おでかけ号の現状について説明。
- (長田会長) 荒川委員から説明があったデマンド交通おでかけ号の現状について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (小林委員) デマンド交通は公共交通のライフラインの一つであるが、おでかけ号のルールについて利用者の理解が十分ではない印象を受けた。自治会や老人会でおでかけ号について説明をすることが重要だと思う。
- (事務局) 現在、老人クラブ・高齢者サロンに消費生活講座を行っている。同様の手法でおでかけ号の講座を行いたい。
- (小矢島委員) 運行事業者・行政力を合わせる大切だと思うので、ルールの周知について力を入れてほしい。

○議題4 その他(2) 自動運転バスの実証実験について

- (長田会長) 議題4 その他(2)について、栃木県から説明を求める。
- (安生氏) 自動運転バス実証実験について説明。
- (長田会長) 栃木県から説明があった自動運転バス実証実験について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。
- (水元委員) 本実証実験についてはメディア等で知っているが、都内の方向けのPRをあまりしていない印象がある。県としてはどこまで発信をしていく予定なのか。
- (安生氏) PRについては紙媒体ではなく、主にWEBやX(Twitter)で行っている。今までの実証実験を通して、鉄道事業者の方にはチラシの配置やポスターの設置に協力いただいている。今回の実証実験については、本実証実験の協議会員であるJR大宮支社の方からチラシを置いてほしいとの声をいただいているので、自治医大駅に置きたいと考えている。範囲については今後相談をしたい。

○議題4 その他(3) その他について

- (長田会長) 議題4 その他(3) その他について、委員の皆様から何かあるか。
- ～意見なし～
- (長田会長) 事務局から何かあるか。

(事務局) 今後の流れについて説明する。地域公共交通計画が令和7年度で終了になる。令和7年度中には次期計画を完成させたいと考えているので皆様のご協力をいただきたい。また、市議会からコミュニティバスの提案があったほか、タウントークのなかで国分寺地区・南河内地区の路線バスについて要望がある。午前中に予約が集中するというおでかけ号の問題が路線バスの開通により一部解消できる可能性について、皆様の知識をお借りしながら今後の方針を考えていきたい。

広域連携について、現在デマンド交通において上三川町・壬生町と連携しているが、今後の展望について皆様のご意見をいただきながら考えていきたいと思う。

(長田会長) 事務局の説明に、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。本日の議事は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。

(事務局) 以上で本日の会議は終了とする。

○閉会

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長

署名委員

署名委員